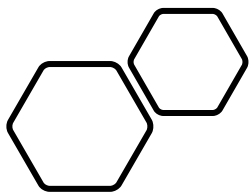


第2回 南区まちづくり懇話会

南区まちづくりビジョンの検証 ワークショップ
～成果と課題～



令和4年8月24日
南区総務企画課



「南区の概要」と 「南区まちづくりビジョン」について



◆南区の概要（位置・地勢・面積等）



南区シンボルマーク



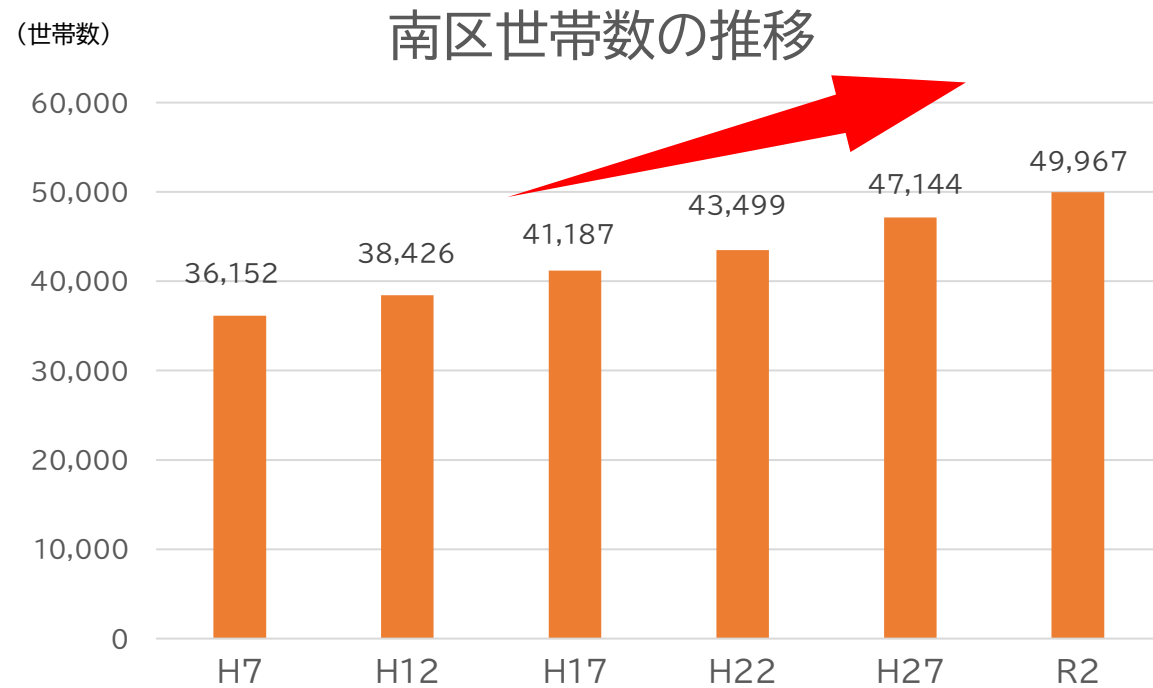
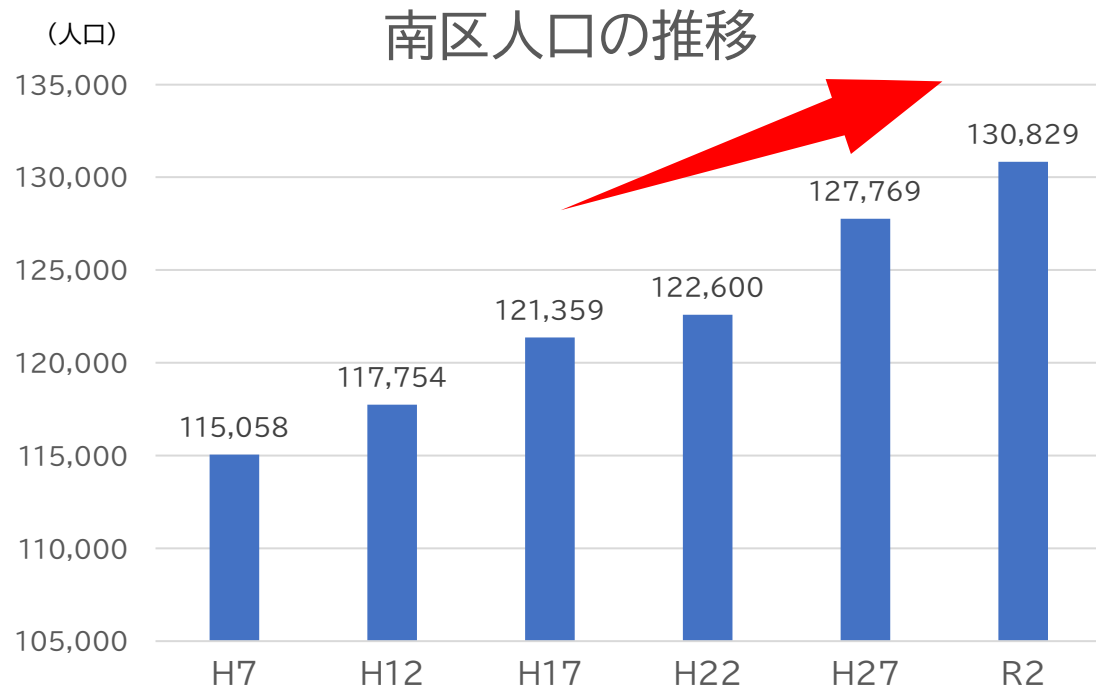
南区は平成24年4月1日、政令指定都市移行に伴い5つの区のひとつとして誕生しました。南区の区域面積は110.01km²と北区に次ぐ広さで、市全体の約30%を占めています。

南区の小学校の校区数(21校区)とまちづくりセンター(平成29年度～)及び公設公民館の設置数(6か所)は、5区の中で最も多くなっています。

区名	面積	割合	小学校校区数	まちセン数
中央区	24.45km ²	6.5%	19校区	1
東区	50.19km ²	12.9%	18校区	3
西区	89.33km ²	22.9%	16校区	3
南区	110.01km²	28.2%	21校区	6
北区	115.34km ²	29.5%	20校区	4
熊本市	390.32km ²	100.0%	94校区	17

● 区役所の位置
※地図上の表示は小学校校区（平成30年4月1日）

◆南区の概要（人口・世帯数の推移）



区名	人口		
	H22	H27	R2
中央区	184,353	186,300	187,502
東区	188,082	190,451	189,524
西区	93,805	93,171	91,177
南区	122,600	127,769	130,829
北区	145,634	143,131	139,833
3 熊本市	734,474	740,822	738,865

南区の人口は、平成7年以降、増加傾向にあります。5区の中では人口・世帯数ともに4番目となっていますが、前回の国勢調査(H27)からの人口増加率は最も高くなっています。

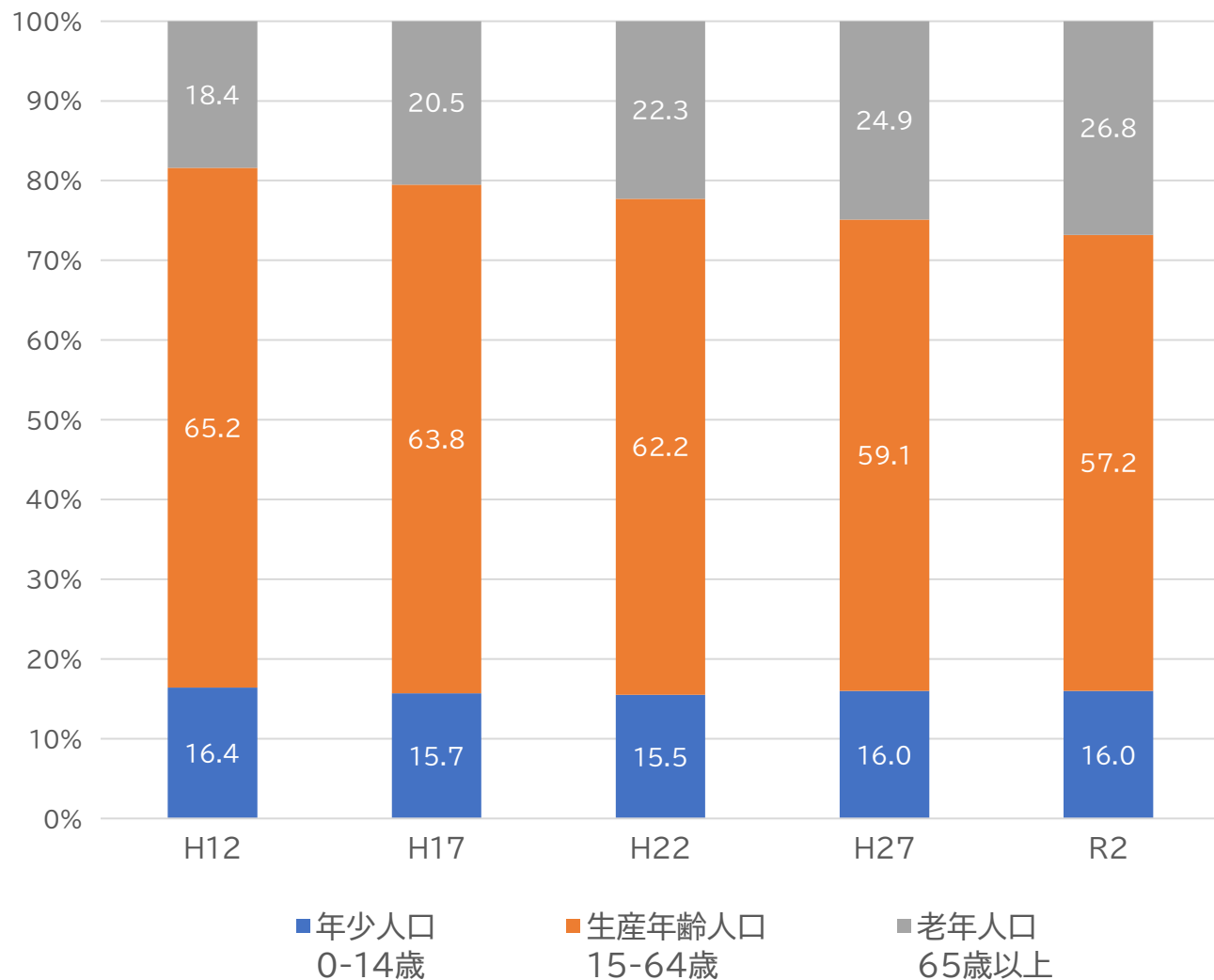


※R2国勢調査・南区まちづくりビジョンより

区名	世帯数		
	H22	H27	R2
中央区	92,242	95,754	99,897
東区	74,942	78,406	80,454
西区	37,610	38,944	39,781
南区	43,499	47,144	49,967
北区	54,120	55,208	56,821
熊本市	302,413	315,456	326,920

◆南区の概要（年齢階級別人口の推移）

南区の年齢階級別人口の推移



区名	高齢化率	年少人口比率
中央区	23.7 %	11.1 %
東区	24.6 %	14.9 %
西区	30.0 %	11.9 %
南区	26.8 %	16.0 %
北区	29.4 %	13.5 %
熊本市	26.4 %	13.5 %

※R2国勢調査・南区まちづくりビジョンより

南区の高齢化率は5区の中で3番目に高くなっていますが、年少人口率については最も高くなっています。



◆南区の概要 (第1産業就業者人口)

区名	第1次産業就業者人口		
	H22	H27	R2
中央区	413人 (0.5%)	437人 (0.6%)	502人 (0.5%)
東区	1,166人 (1.4%)	1,259人 (1.5%)	1,348人 (1.4%)
西区	3,386人 (8.5%)	3,351人 (8.2%)	3,268人 (7.0%)
南区	3,567人 (6.6%)	3,574人 (6.3%)	3,658人 (5.4%)
北区	3,772人 (6.1%)	3,851人 (6.0%)	3,742人 (5.2%)
熊本市	12,313人 (3.9%)	12,472人 (3.8%)	12,518人 (3.3%)

南区の第1次産業就業者人口は、西区に次いで高く、市全体の割合を大きく上回っているのが特徴です。

しかし、過去の国勢調査と比較すると、就業者数は増加しているものの、人口割合としては減少傾向となっています。

※第1次産業:農業・林業・漁業

※第2次産業:鉱業・建設業・製造業

※第3次産業:第1次・2次産業以外の産業(電気・ガス・熱供給・水道)、情報通信業、運輸業、金融保険業、不動産業、飲食業、医療・福祉、公務など

※R2国勢調査より



◆南区まちづくりビジョンについて

「南区まちづくりビジョン」とは、平成24年の政令指定都市移行後に、区の魅力や特性をいかしたまちづくりの方向性を示すものとして、平成25年3月に策定しました。

また、熊本地震の発生、まちづくりセンターの設置など様々な情勢の変化を踏まえ、平成29年度に改訂を行いました。

めざす区の姿を「いきいき暮らしのまち南区」とし、その実現に向けた年次目標を10年後の2022年度として、これまでに様々な参画と協働によるまちづくりを進めてきました。

年度	まちづくりビジョンに関する経緯	懇話会委員
H24	南区まちづくりビジョン策定(WS・区民アンケート)	ビジョン策定懇話会
H25		1期委員
H26		
H27	区民アンケート	2期委員
H28	熊本地震	
H29	ビジョン改訂(WS)・まちづくりセンター設置	3期委員
H30		
R1	中学生WS・区民アンケート	4期委員
R2		
R3		5期委員
R4	ビジョン検証(WS・区民アンケート)	



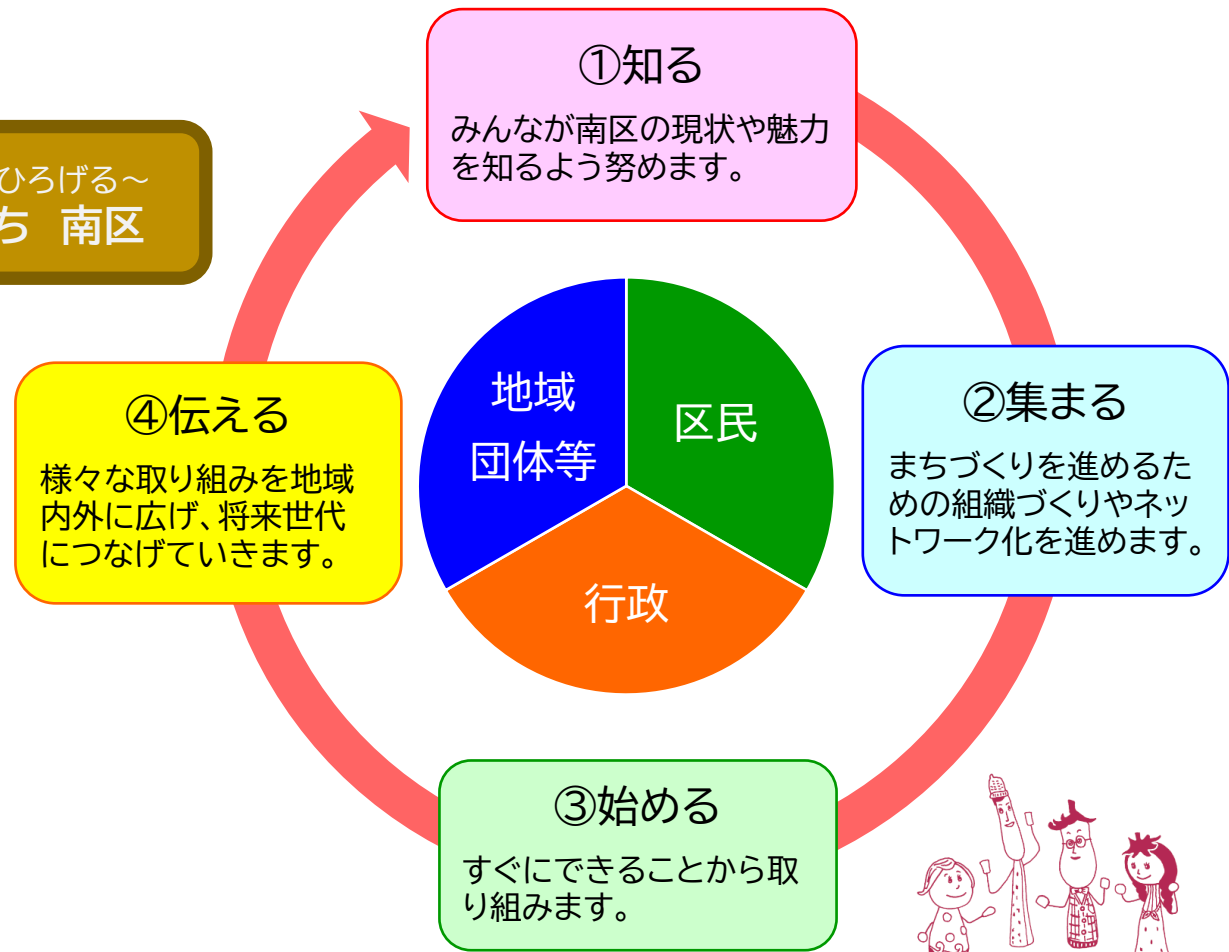
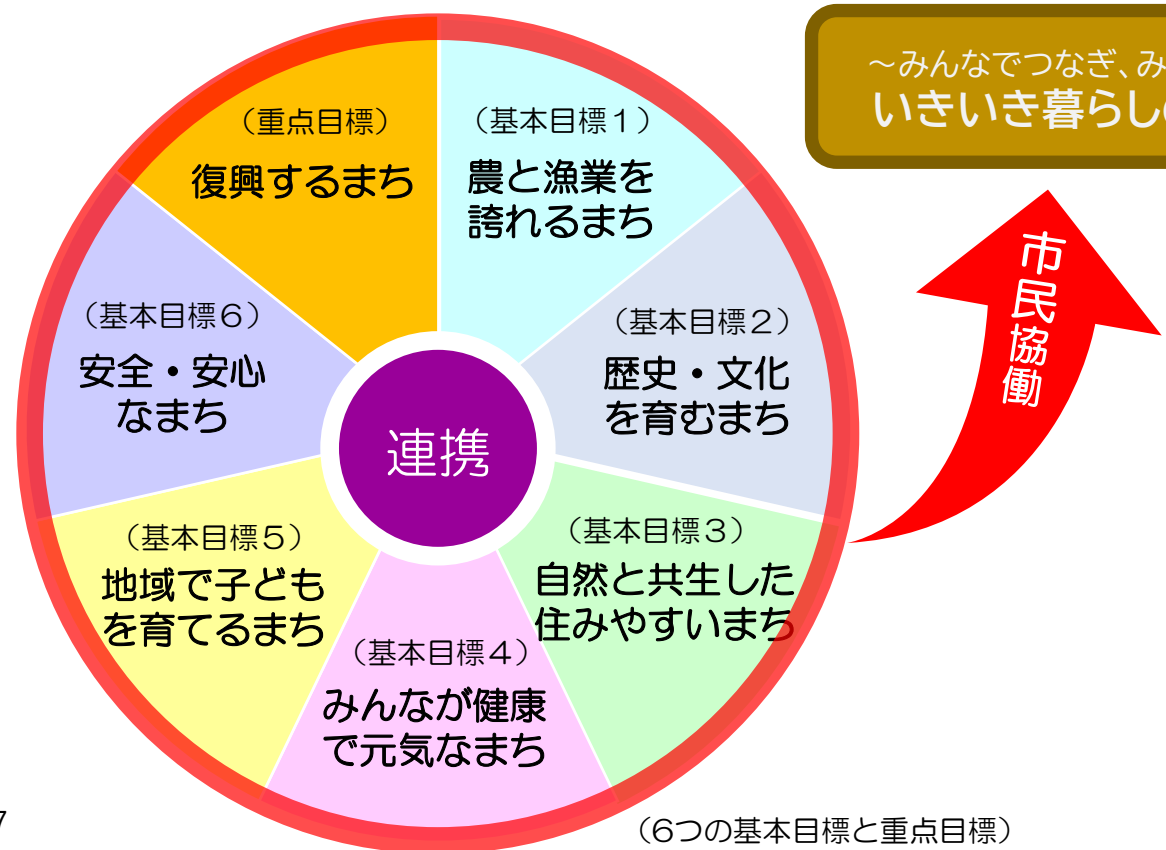
◆南区まちづくりビジョンについて (めざす区の姿と行動指針)

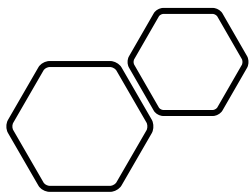
めざす区の姿

『いきいきとした自然や緑が育まれ、活きの良い水産物、新鮮な農産物がとれ、永い歴史・文化が息づき人々が活発に交流し暮らしの中に伝統文化のある粋で、子どもから大人までが安全で生き生きと暮らす』
 このようなまちづくりを、世代を超えて絆をつくり、南区の魅力を磨きあげ、地域全体と将来に向かって広げていきます。

行動指針

めざす区の姿の実現に向けて、自助・共助・公助の役割のもと、区民・地域団体等・行政の各々が「知る」「集まる」「始める」「伝える」の4つの段階で行動に移す指針を設定し、連携して協働のまちづくりに取り組みます。





基本目標の取組事例



◆取組事例 基本目標 1 「農と漁業を誇れるまち」



◆南区おいしいものの収穫体験・料理教室(R1)

南区の農水産物への関心度向上や地産地消の推進を目的とし、親子でトマトの収穫体験を行い、川尻公会堂で収穫したトマトを使った料理教室を開催した。



◆世代間交流促進事業(R1)

高齢者を講師に児童と保護者を対象として、農業体験や郷土料理づくり、昔遊び等の体験型プログラムを実施し、世代間及び地域交流を図った。



◆火の君商品開発塾事業(R2)

城南町のまちづくり団体「TEAM城南ワンダホー」・熊本農業高校と連携し、地産地消の商品開発を実施した。城南町産のレンコン・卵等を材料とした「パン・デ・レンコン」を商品化。



◆「おいしい南区」魅力発信事業(R3)

南区特産のなす・キュウリ等を食材にレシピコンテスト等を開催し、多数の応募があった。

◆取組事例 基本目標 2 「歴史・文化を育むまち」



◆南区“いきいき”フェスタ開催(H25～H29)

南区各地域に残る伝統文化の披露や地域のまちづくり活動等のパネル展を開催し、南区の魅力を区内外に情報発信するとともに、地域間交流による賑わいを創出し、区の一体感の醸成を図るイベントを実施した。

◆南区を歩こう～まち歩き手帖作成(H25～)

南区の歴史や自然に触れながら、まち歩きやサイクリングを楽しめるコースを紹介する手帖を作成した(現在、vol.4まで作成)。

◆地域力強化支援事業(H30)

地域住民が関わり合う場の提供を支援するため、塚原歴史民資料館、塚原古墳公園にて星空観察などを行い一泊体験をした。



◆南区の魅力発信バスツアー(R1)

南区の一体感を醸成し、まちづくりへの関心度向上を図るため、六殿神社・塚原古墳公園などの文化財や豊かな自然を巡るバスツアーを開催した。



◆取組事例 基本目標 3 「自然と共生した住みやすいまち」



◆自然を活かした地域連携支援事業(H26～H29)
南区の活動団体と共同で、自然に親しむイベント(穴掘り大会、加勢川カヌー下り、雁回山わくわくウォーキング等)を実施した。

◆デマンド型乗合タクシー(H25～:都市建設局)
公共交通空白地域と公共交通不便地域において、乗合タクシーを運行(南区は9路線)



◆生物多様性に関するイベント開催(H29～:環境局)
毎年5月に動植物園で、生物多様性について楽しく学ぶイベントを開催



◆いきもんネット(H30～:環境局)
生物多様性の保全等に関する自主活動に取り組む市民活動団体や事業者、学校、行政機関などが情報を共有して、互いに連携・協働し、情報を発信する制度を創設した。



◆幸田花のまちづくり育成事業(R1～R3)

小学校で肥後菖蒲の植え付けや肥後六花の学習会、肥後銀行で肥後山茶花の展示会を開催。また、スタンプラリーを開催するなど地区全体での花のまちづくりを実施した。



◆取組事例 基本目標 4 「みんなが健康で元気なまち」

◆8020推進育成事業(H24～)

歯科保健を推進するボランティア(8020推進員)の育成や、8020推進員が地域住民を対象に実施する歯科保健啓発活動の支援を行う。



◆南区フットパスコースづくり支援事業(H27・H29)

里山や田園地帯、古い街並みや風景をゆっくり歩きながら楽しむことを目的とし、川尻・城南地域のフットパスコースを地域住民と共同で設定し、コースマップを作成した。



◆南区人生会議の日 開催(R3)

医療と介護に関するわかりやすい啓発を目指し、R2に「南区地域包括ケアシステム推進方針」を策定。「地域包括ケアシステム」や終末期医療に伴う「人生会議」の大切さ、「メッセージノート」について知っていただくことを目的とし、南区人生会議の日を開催した。



◆南区ウォーキングキャンペーン(H26～R1)

区民一人ひとりの健康意識の向上や運動に親しむ環境づくりを目的に、校区対抗などの団体戦、個人戦でそれぞれ歩いた歩数を競い合うキャンペーンを実施した。



◆南区“いきいき”スポーツ大会(H26～R1)

区民一人ひとりの健康づくり及び区の一体感の醸成を目的に、校区ごとにチーム編成し、区内のスポーツ施設でグラウンドゴルフ大会、ミニバレー大会を行った。

◆取組事例 基本目標 5 「地域ぐるみで子どもを育てるまち」



ベビーマミーボックス
(飽田地区)

◆南区子どもいきいき学びフェア(H26~28)

地域を愛する心を育むことを目的とし、南区の将来を担う子供たちに区の魅力・特性を学ぶ機会を提供するため、南区の魅力に関する体験講座やステージ発表等、子どもたちが参加・体験するイベントを開催。



◆家庭訪問型子育て支援事業(H29~)

子育て中の保護者等の育児不安の軽減を目的に、ひきこもりがちな家庭が地域の中で安心して子育てができるように、養成研修を受けたボランティア支援員が定期的に訪問する。



◆子育て支援ネットワーク事業(保健子ども課)

各校区で結成された子育て支援ネットワーク活動の課題や解決方法を考え、「地域の子育て支援を地域で考え、実践するしくみ」を作るための活動を支援するもの。

◆南部世代間交流事業(H29)

おとなと子どもでしゃべり場「トークフォークダンス」開催。子どもが地域の仕組みや役員の役割を学び、地域活動を知るきっかけとし、担い手育成につなげる。管内の小中学生・自治会役員・交通指導員等が参加した。



◆幸田まちづくりサポーター事業(H29~)

地域に埋没する人材の発掘と将来の担い手の育成を目的に、まちづくり活動団体や個人等を地域住民自ら人材を発掘し、熊本市などが「まちづくりサポーター」として認定し、表彰を行う。



◆富合地域カフェ(H30・R1)

地域のつながり強化のため、富合校区のボランティアによる手作りランチの提供と併せて、おもちゃ作りや親子クッキングなどのイベントを開催し、地域住民の世代間交流を図った。



◆天明まちづくり担い手育成事業(R1~)

新たなまちづくりの担い手の育成と地域の幅広い層の自主自立の意識向上を目的とし、女性ボランティアグループ「天明応援隊(41名)」を組織し、地域活動の基盤整備を行った。



◆取組事例 基本目標 6 「安全安心なまち」



◆南区地域防災フェア(H25～29)

地域防災組織の活動促進のため、災害に関する研修等を実施し、防災力の向上に繋げる。

◆飽田:みんながつながる「わがまち」支援事業(H29～)

住民の防災意識の向上、共助意識の醸成を目的に、小学生向けの防災体験学習や校区防災連絡会等向けの防災研修会を実施し、地域の人的ネットワークの拡大と地域コミュニティの活性化につながった。



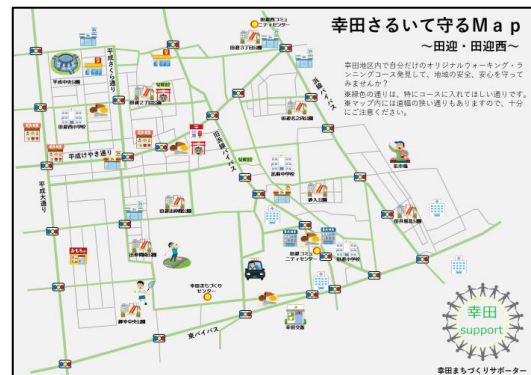
◆南区防災バスツアー(R1)

防災意識の向上と地域防災力の向上を図るため、熊本地震で被害の大きかった益城町を訪れ、地震の規模や痕跡を学ぶ。防災士による防災学習や、防災食の調理・試食などを行い避難所運営について学んだ。



◆幸田さるいて守る事業(R2)

地域住民の健康づくりと地域の防犯・見守りの推進を目的に実施した。学校・ささえりあと協働で防犯・高齢者の見守りのためのウォーキングマップを幸田管轄を南北に分けて作製した。



◆南区防災フォーラム(R3)

有識者の講演、パネルディスカッションを通して地域防災力の向上を図る。



◆取組事例 重点目標 「復興するまち」



◆地域コミュニティ形成・強化支援経費(R1~R2)

熊本地震で甚大な被害を受けた城南町土鹿野地区の復興に向けた住民組織の運営を支援するもの。学生による住宅再建調査や意見交換会等により地域住民の交流を図った。



◆歯と口の健康づくり支援事業(R1~R3)

健康センターや災害公営住宅集会所等において、被災者の健康維持を目的に、歯科相談、化粧療法を活用した口腔ケア教室、スポーツ吹矢体験及び8020推進員による啓発を実施

◆災害公営住宅入居者交流支援(R1~R2)

災害公営住宅入居者が互いに支えあえる関係性の構築を図るため、餅つき大会や昼食バイキング等の交流会を開催した。また、交流会で使うテーブルやイスの設置など、交流促進の環境整備も実施した。

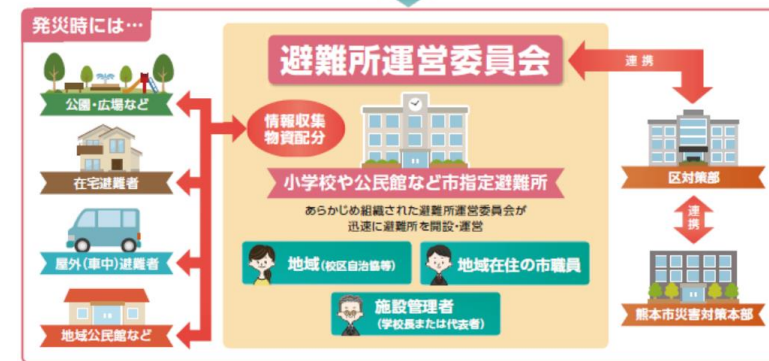


◆仮設住宅等入居者・退去者支援事業(R3)

被災者が新たなコミュニティにおいて孤立化しないことを目的とし、専門の講師による支援者のための見守り講座を開催した。また、継続した見守りが必要なことから、講座を集約したDVDを作成し民生児童委員会に配布した。

◆避難所運営委員会設立及び活動支援助成(R2~R3)

設立している避難所運営委員会に対し、運営等への活動助成金として30,000円を助成した。



◆熊本市の歩み(政令指定都市以降)

年 度	熊 本 市 の 動 き	南 区 の 動 き
平成24年 (2012年)	第1回熊本城マラソン開催	南区まちづくりビジョン策定
平成25年 (2013年)	アジア太平洋都市サミット開催	田迎西小学校開校
		熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館開設
平成26年 (2014年)	新型超低床市電(COCORO)の運行開始	力合西小学校開校
		熊本市城南地域物産館「火の君マルシェ」開設
平成27年 (2015年)	海フェスタくまもと開催	城南総合スポーツセンター開設
	第7次総合計画策定	
平成28年 (2016年)	熊本地震発生	西熊本駅開業
平成29年 (2017年)	まちづくりセンター設置 (全17箇所)	南区まちづくりビジョン改訂
		平成さくら支援学校開校
		九州自動車道 城南スマートインター開通
平成30年 (2018年)	市立熊本博物館が再開	
	熊本市民病院の建替完了	
令和元年 (2019年)	熊本城ホール、桜町バスターミナル開業	災害公営住宅整備完了 (南区5箇所)
令和3年 (2021年)	熊本駅白川口駅前広場完成	
	熊本城天守閣の完全復旧	
16 令和4年 (2022年)	第38回全国都市緑化くまもとフェア開催	

